

平成 26 年前期 始業式

みなさん、おはようございます。

春と言えば、何かワクワクするような希望と期待が膨らむ季節ですが、新しい年度の始まりを、高い目標に向かって、意気揚々とスタート切ってほしいと思います。

今日は、この一年間十二分に肝に銘じてほしいことを 2 点お話しさせていただきます。

一つ目は、「自分の可能性を信じてチャレンジしてほしい」ということです。

何事においても「できるはずがない」とやる前から諦めてしまう人と「やってみなければ  
できるかどうか分からない」とチャレンジする人とはその先にある未来には大きな違い  
が生まれるということです。やってみて、たとえそれが失敗したってどうってことない。  
かえってその失敗が人を成長させてくれるものです。とにかく怯まず、恐れず、勇気を持  
ってチャレンジしてください！

こんな話があります。サーカスで飼われている大きな象が、小さな杭にロープでつながれ  
て、じっとしているのはどうしてなのか、という話です。小さな杭なんか、いとも簡単に  
引き抜いてしまうだけの大きな力を持っているのに、なぜその力を発揮して逃げようとし  
ないのか不思議な感じがしますよね。それは、像は子どもの頃、鎖で杭に繋がれて毎日毎  
日を過ごす中で、小さいので大した力もなく、杭を引っっこ抜くことができません。そうす  
ると、その像は大きくなってからも、その思い込みに囚われ続けるというわけなんです。  
大人になった像にとって、杭を引っっこ抜くことぐらいたやすいはずなのに、そうしないの  
は、「自分には大した力がない」と思い込んでいるから何もせずじっとしているのだそう  
です。これは、人間にも当てはまるような気がします。あなた方一人一人には非凡な才能・  
能力があり、素晴らしい可能性を秘めています。「自分には大した力がない」と思い込み、  
自分で限界を設定してしまい、力を発揮できずにいることが、まだまだあるのではないで  
しょうか。まだ見ぬ己の秘めた可能性を発見するためにも、いろいろなことに自分の意思  
でチャレンジしてみてください。

二つ目は、「志」「自分に厳しく」ということです。

学ぶということは力をつけること。力が身に着くということは成長するということです。  
何もせずに力がつくことはありません。腕立て伏せを 50 回すれば 50 回分の力が  
身につく。本を 1 冊読めば、感性が磨かれ、想像力が逞しくなる。そこで次の 2 つのこ  
とが問題になってくるのです。一つは、50 回をどういう気持ちでやるのかということです。  
やらされるから仕方なくやるのか、自らの意思で、意欲でチャレンジするのか。この心持  
ちの違いはとてつもなく大きい。もうひとつは、50 回やれた時に「これでいいや」と満  
足してしまうのか、次は 60 回、70 回とさらなる高みをめざすのか。この志というもの

の違いで未来の姿が大きく変わってくるのです。一瞬だけを見れば大した違いは見えてこないかもしれませんが、しかし、1年365日、3年1000日となるとその差は歴然としたものになってきます。どれだけ「自分に厳しく」できるか、これが人としての強さであり、こうして積み重ねた努力は必ず花開く時がやってくる。

ここに様々な色の風船があるとしましょう。その風船は、自分が努力した分だけ膨らむ風船なんです。色も形もみんな人それぞれなら、膨らむ大きさも人それぞれ。みんな違っていいんです。でも、あいつがあそこまで頑張っているのなら自分も・・・とお互いが刺激を受けることは、とても大事なことかもしれません。そこに共に学ぶ学校の意味があるように思います。それぞれの人が自分の最善・最大の努力を注ぎこみ、一日一日の精一杯の努力の結果膨らんだ風船が1年365個たまれば相当な量になりますよね。3年1000日ともなればなおさらのことです。それがあなた方の色とりどりの成長です。去年の自分、今の自分よりも少しでも高みをめざして、コツコツと色々な風船を膨らませる一年にしてください。

最後に、入学式で新入生に紹介した、坂村真民さんの「ほろびないもの」という詩を紹介します。

「私の中に生き続けている一本の木 私の中に咲き続けている一輪の花 私の中に燃え続けている一筋の火 ものみなほろびゆくものなかで ほろびないものを求めてゆこう」  
この世の中「 $1 + 1 = 2$ 」と原理原則通りに事が運ばないことの方が多いように思います。でも、時に $1 + 1$ が3にも4にもなることがあります。そこには気合であったり、根性であったり、人を思いやる心であったり・・・形のないものが付加価値となって、大きな力を生み出すように思います。

それでは、みなさん今年一年間、仲間とともにお互いを支え合い、良い刺激を与えあい、高みに向かって努力を積み重ねることで大きな成長を見せてください。一年後の皆さんの成長を期待し、ワクワクしながら見守っていきたいと思います。